

心地よい睡眠を届ける寝具づくり

かぶしがいいしや
株式会社ニワユー

〒482-0033 岩倉市神野町 343-1
TEL: 0587-37-2277
http://www.niwa-yu.jp



■会社概要

1960 (昭和 35) 年に、ふとんカバーの製造販売会社として創業しました。その後、まくらの製造・卸、リース事業をはじめ、1984 (昭和 59) 年に、製綿から仕立てまでの自社工場を整備し、ふとんの製造・卸をはじめました。

2004 (平成 16) 年には、抗菌・滅菌効果の高い光ギンテック処理工程を導入しました。ギンテックの販売・建物への施工も行っています。

ニワユー株式会社の目印は「星印」です。



布団や寝具用カバー等を製造する「寝具製造業」は全国に489事業所(2023年経済構造実態調査)あります。そのうちのひとつが岩倉市にあります。

1枚1枚要望に添えてつくる職人の技

今の主な事業内容は、寝具の製造事業とリース事業が半々の割合です。敷布団や掛布団、布団カバー、シーツなどを製造し、ホテルや旅館などに販売したり、寮や社宅、斎場(お通夜の際に利用する)にリースしています。

業務用やリース用の布団の製造は、自動綿入れ機を使って行いますが、個人の方から注文をいただいたときには、職人さんが綿を入れる昔ながらの製法でつくることもあります。

機械で作った布団はどうしても数か月程度で凹んでしましますが、職人さんがつくったものは長持ちします。1枚1枚手作りで行うと、中心部分は体重がかかりやすいので、中に入れる綿を厚くしたり、1枚、2枚の注文から対応できたりします。これは大手にはできない対応だと思っています。

布団は手入れをして長く使い続ける物

使い捨ての時代と言われていますが、昔は布団屋さんの多くは綿を打ち直す機械を持っており、布団がぺたんこになつてくると中の綿を出して、打ち直して使

い続けていました。最近では布団屋さんが機械を持っていないので、打ち直しの依頼が来ることもあります。ただ、注文は減っています。

機械製造と布団製造の関係

実は、今、製綿機のメーカーが国内に数社しかありません。かつては名古屋にも営業所がありましたが、撤退してしまつたため、今は、小さな修理は地元で機械メーカーに部品を加工してもらっています。大きな修理には、東京から来ていただいています。機械のメンテナンス自体が難しくなっています。

抗菌効果の高い布団

布団のリース事業の中で、お客様から衛生面に対する要望があり、同じ岩倉市内のアスカテックさんが製造する「ギンテック」を布団の抗菌・滅菌に使っています。ギンテックは暗所でも効果があるため、押し入れ内など光が当たらない場所でも効果が期待できます。これも他社と差別化を図る強みです。

「柔らかい布団がいい人、硬い布団がいい人、人それぞれ。寝具にも好みがある。そのお客様の要望に添えて、試行錯誤した結果、『よく寝れた』『腰痛が治った』との感想をいただく時に、一番達成感を感じます。手づくりで布団をつくっている事業所は少ないので、この職人技があることを強みとして引き継いでいきたいと思っています。」先代から会社を引き継いだ丹羽社長は、厳しい寝具製造業界の中で自社の強みを活かして、じつくりと事業を営んでおられます。